

都議選勝利で安倍政権に審判を！ 「共謀罪」法廃止のたたかいを！



「共謀罪」法廃止の新たなたたかいを全国でまきおこそう
党議員団会議 志位委員長のあいさつ

15日の参院本会議での「共謀罪」法の強行成立直後に開かれた日本共産党衆参両院議員団会議で、志位和夫委員長が行ったあいさつは次の通りです。

「中間報告」という異常な禁じ手を使っての、自公による「共謀罪」法案の強行に満身の怒りを込めて抗議を突き付けたいと思います。

この暴挙は、追い詰められての暴挙だと思います。「共謀罪」法案は、審議をすればするほど問題点、矛盾点が噴き出してくる。他方、「加計」疑惑は、官邸による行政がゆがめられたことを裏付ける新しい事実が次々噴き出してくる。そういうもとで国民の怒りが広がる。そういうもとでまさに追い詰められての暴挙にほかなりません。

たたかいは、これからだと思います。今回の「共謀罪」法はまさに憲法19条に反する深刻な違憲立法です。「数の暴力」でこれが強行されたからといって、そのまましておくことはできません。きょうこの期をスタートに、「共謀罪」法を廃止する新たなたたかいを全国でおこそうではありませんか。

違憲立法という点でいいますと、2015年9月に強行された安保法制＝戦争法、2013年12月に強行された秘密保護法、そして今回の「共謀罪」法。どれもが憲法を踏みにじた違憲立法です。そしてこの三つは、すべてが「海外で戦争する国」づくりの道具立てになっています。ですから、この三つをそろって廃止し、そして日本の政治に立憲主義、民主主義、平和主義を取り戻す—このたたかいに取り組もうではありませんか。

最後に、私はきょう、参院の本会議を傍聴しまして、あらためて実感したことは、自民、公明が多すぎる。国会の力関係を変えなければなりません。選挙で変えなければならぬ。

まずは総選挙で野党共闘を必ず成功させ、日本共産党を躍進させて、自公とその補完勢力を少数に追い込もうではありませんか。直面する都議選で必ず勝利を勝ち取ろうではありませんか。頑張らしましょう。

もとむら伸子衆院議員は練馬区でとや英津子候補の応援に入っています(写真右)。しまづ幸広衆院議員は江東区、ただけ良介参院議員は新宿区、井上さとし参院議員は全域で。中野たけし候補も杉並区に入りました。

国会議員、比例候補も都議選勝利に全力挙げる



13日に始まった、党国会議員団の「共謀罪反対、加計・森友疑惑追及緊急街頭宣伝」の初日、しまづ幸広衆院議員は、昼休みの新宿駅西口で、宮本徹議員とともに参加。(写真左上)

「加計問題の幕引き許さず徹底究明を」「憲法違反の『共謀罪』法案は廃案に」「都議選で安倍政権と自民・公明・維新に審判を」と訴えました。



本村伸子議員は15日昼、新宿駅南口で、共謀罪法案の採決強行に抗議する緊急街頭宣伝を行いました！(写真右)
加計学園問題や森友学園疑惑を先頭にたつて追及してきた宮本岳志衆議院議員と訴えました。
共謀罪法の廃止、STOP憲法改悪、都議選勝利、私物化の安倍政権退陣など訴えました。

東海96万票、比例3議席の実現で野党連合政権の大きな流れを